

国土交通大臣賞（優秀賞）

水と関わり合う日々

「よろしくお願いします。」僕はそうプールに向かって、一礼をしてから練習に臨む。それは、ほぼ毎日のことである。

プールを目の前にして僕は、「このプールに水を一杯にするには、どれだけの水が必要なのだろう。」そう考えていたら、つい最近、父と母が、「八ッ場ダムが三月三十一日に完成するらしいね。」と話していたことを思い出した。

いつの間にか、練習に集中して、ヘトヘトになって迎えに来てくれた父の車へ乗り込んだら、八ッ場ダムの景色を思い出していた。

「そうだ。僕は、八ッ場ダムに沈む前の景色と、沈んだ後の景色を見ていたんだ。」そう父と話しながら、家の中へ入ると、カレーのいい匂いと母の「おかえり。」の聲が迎えてくれた。父は、「ダムカレーかな。」と笑いながら言う。母は、「ダムカレーにしようか。」と笑いながらテーブルにカレーを並べる。そして、車の中での話を、カレーを食べながら話した。

僕がまだスイミングの選手コースに入る前は、夏休みや連休にはいろいろな所へ連れていってもらった。その中のひとつが、草津温泉だ。草津へ行く時は、吾妻溪谷を通って行っていた。母は、特にこの溪谷が好きだった。夏は、眼下に見えるキラキラとした川や、緑の濃い木々の間から見える日差しが眩しかった。秋は、紅葉がとてもきれいで、母は、「きれいだね。」「あそこもきれいだよ。」とみんなに教えてくれた。僕が、この溪谷について記憶があるのは、母のおかけかもしれない。いつの頃だったか、父や母が、この溪谷を通っている時、「この景色は、次に来た時は見れないかもしれないね。」と話していたことを覚えている。

父と母は少しなつかしように話をしながらこう続けた。八ッ場ダムは、この間の台風十九号の時、被害を少なくしてくれて、台風から守ってくれたということ。それに八ッ場ダムに限ったことではないけれど、ダム

群馬県 渋川市立渋川中学校 二年 大谷 優斗

があるおかげで、水害が少なくなるし、水不足にならない様になってくれるということ。それと、発電もしてくれるということ。けれども、ダムができた場所には、住んでいた人がいて、町があつて、生活があつたということ。そういったたくさんの方の協力があつてダムはつくられたということ。改めて聞いて、再確認したことで僕は、ダムができる前の吾妻溪谷を、家族と一緒に見た景色を、決して忘れないと思つた。

今日も僕は水の中に居る。きっと同じ中学校の友達の中でも水の恩恵を受けているということに気づかせてもらった。

「ありがとうございます。」僕はそうプールに向かって一礼をしてから練習を終える。それは、僕が学童のコースから選手コースへ入った時、今は天国へ行ってしまったコーチが僕に「いいか。プールで泳げるということを当たり前にはいけないんだぞ。」と教えてくれたことを胸に、今まで以上に感謝の気持ちを込めて、大きな声で「ありがとうございます。」と言おう。